

令和6年能登半島地震のお見舞い、ならびに本学会としての支援につきまして

この度の能登半島地震により被災された方々へ、心よりお見舞い申し上げます。
また、犠牲になられた方々へ哀悼の意を表しますと共に、謹んでお悔やみ申し上げます。

本学会として行う被災者の方々への支援につきましては、学会として加わっております
JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）を通じた直接／間接的な支援活動に加え、
今後は理事会において義援金の提供等を検討して参りたいと考えております。
また、東日本大震災において行いました『被災者の補装具費支給に係る厚労省への要望』に
つきましても、今回、必要性が確認でき次第、他の関連学会と連携し対応していくつもりで
おります。

現地の状況につきまして石川 JRAT よりご報告いただいているところでありますが、現時
点では、道路の遮断等によりアクセスが困難な地域もまだ多く残されているとのことです。
福祉用具／義肢装具等を含めたリハビリテーションに関するニーズにつきまして、今後明
らかになってくるものと思われまます。

令和6年1月11日

一般社団法人 日本義肢装具学会

理事長 坂井 一浩